

No	パート	質問内容	回答
1	第1部	スーパーシティ応募の決定時期はいつ頃か。	内閣府から正式な日程はでていないが、これまで聞いている話だと3月いっぱいまで公募を締め切るとのことなので、年明けの早い時期に応募要項の詳細を見ながら判断していきたい。
2	第1部	市の支出を伴わない実証実験レベルであれば、随時受付と理解してよいか。	まずは、個別の相談を受けたいうえで、どのような対応ができるか検討していきたい。
3	第1部	スーパーシティは基本的に法改正を求めていく活動にもなると思うが、鎌倉市が想定されている改正のポイントはあるのか。	第2部の観光・交通の現状と課題の部分で説明したい。
4	第1部	都市計画の網掛けが確定するのはいつ頃か。	深沢地域については、来年度に土地区画整理事業区域、区域内の都市計画道路、地区計画の基本方針などの都市計画決定を予定している。今回のスマートシティは、深沢だけに特化したものではなく、全市対象に考えていきたいので、深沢に限定せずに様々なご提案をいただきたい。
5	第1部	スーパーシティに応募するしないによるメリット・デメリットはどのようなものと考えているのか。	現時点では、国からスーパーシティに対してどの程度予算が措置されるかが未定だが、国から一定の財政支援が得られる点でメリットがあると思われる一方、スーパーシティ、スマートシティともに市民の理解が進んでいないところがあるので、混乱を生じさせない形で市民理解を得ていく点は課題であると認識している。
6	第1部	鎌倉市に隣接する自治体と共同での考えはあるか。	現時点では、広域連携までは視野に入れていない。
7	第1部	新駅ができる場所について、JRが関わるが資金は出さないでその手当はどうするのか。	新駅の整備費用は神奈川県、藤沢市、鎌倉市（以下「3県市」という。）が負担するとともに、平成31年1月に3県市で構成する「村岡新駅（仮称）設置協議会」からJR東日本に対して、新駅整備費用の一部負担を求めている。
8	第1部	提案シートの費用負担者はどう考えれば良いのか。実証は市の費用負担なしということだと思いますが、それ以外は基本的には市負担で行う事業の提案ではないのか。	行政は、事業の実施が決定してから、予算を議会に諮り、承認を得る必要があるため、市の負担がどの程度になるのかということも含めてご提案いただきたい。

No	パート	質問内容	回答
9	第1部	スーパシティ応募にあたり、協力民間事業者を公募される予定はあるか。	スーパシティに取り組んでいくということになれば、ご協力いただける民間企業を公募することになると考えている。
10	第1部	個別提案をするにあたり基本方針が確定していた方がより効果的かと考えるが、基本方針の決定はいつ頃の予定か。	基本方針については、できるだけ早くと考えており、本日の皆様からのコメントや庁内調整を経て、年明けには固めたいと考えている。
11	第1部	県、国などの助成金活用も視野に入れているか。	活用していきたいと考えているが、スーパシティについては、どのような補助金があるのかは未確定な部分があるので、情報を収集してまいりたい。
12	第1部	スーパシティでは5分野以上の連携という話について、どの分野で、という目途はあるのか。	大きくは、オーバートーリズム（交通渋滞）、災害対策、少子高齢化・人口減少を解決する上で必要な分野に取り組んでいきたい。また行政のDXについても積極的に取り組んでいきたい。
13	第1部	地権者で組合を組成するのか。	ご質問の趣旨が広く特定が難しいので、具体的に想定する用地や案件があるようでしたら、別途所管部署にお問い合わせいただきたい。
14	第2部	2000万人の観光客のうち、マイカー利用者数はどれくらいか。	令和元年に観光課が実施した聞取りアンケートにおいて、鎌倉への交通手段について尋ねたところ、自家用車が11.6%となっている。
15	第2部	ロードプライシング課金システムについて、具体的にはどのくらいの金額を課金するのか。	以前実施したアンケートにおいて、どの程度課金されると自動車から公共交通機関に転換するかと尋ねたところ、1000円程度という声が多かった。実際どの程度渋滞を減らせれば良いかという点も含めて、今後検討を進めていく。
16	第2部	ロードプライシングの課金システムは、どのようなものと考えているのか。	課金をするために料金所等を設けると停車することによる渋滞を招くので、停車せず通過しながら課金できるシステムを考えており、ETCの活用も含めて検討をしている。

No	パート	質問内容	回答
17	第2部	鎌倉市内住民の、観光地内での消費データなどはあるか。（地元消費）	聞き取りのアンケートは、観光客と思われる方へのアンケートなので、市民のデータを掘り下げていけると、面白いデータが取れるのではないかと考えている。
18	第2部	旅館やホテルなどの宿泊施設はどのくらいあるのか。	令和2年11月30日現在、鎌倉保健福祉事務所に登録されている旅館業法に基づく許可施設は129施設となっている。
19	第2部	交通の解決について、ロードプライシング以外の施策について検討されたのか。	鎌倉地域への車の流入量を減らすため、パークアンドライドを実施しているが、外側に大きな駐車場を確保することができないことが課題となっている。
20	第2部	藤沢や逗子と連携した考え、検討はしたのか。	藤沢市とは「鎌倉藤沢観光協議会」、逗子市とは「三浦半島観光連絡協議会」や「鎌倉・逗子・葉山海水浴場マナーアップ推進協議会」という協議会に共に参画しており、様々な事業での連携を取っている。
21	第2部	1割が車ということですが、通過交通は含まずということか。	観光課の調査は、実際に観光地に来た方を対象としているので、通過交通は含まない。
22	第2部	観光課題の時間的分散（夜間消費拡大）に関して、近年実施した有効な打ち手について施策があるか。	観光協会と共同で運営している公式ホームページで、夜の魅力、泊まる魅力の発信をしている。
23	第2部	課金システムはどのような手段（現金、電子決済など）を考えているのか。	課金をするために料金所等を設けると停車することによる渋滞を招くので、停車せず通過しながら課金できるシステムを考えており、ETCの活用も含めて検討をしている。
24	第2部	観光客のうち訪日外国人は何割程度か。	以前、ドコモインサイトマーケティングで調査をしたところ、訪日外国人はおよそ3%程度と推計された。（2017.10-2018.9）

No	パート	質問内容	回答
25	第2部	渋滞解消に向けて信号や踏切とのインフラ協調などすでに検討されていることはあるか。	江ノ電の踏切が近接している交差点では、踏切と連動した信号制御も有効と考えており、検討したいと考えている。